



東京部会(第 81 回)

日 時: 2016 年 2 月 25 日 (木) 19:00-21 : 15

場 所: 日本大学経済学部本館 2 階中 2 会議室

参加者: [順不同・敬称略] 篠原総一(京都学園大学)、加藤一誠(慶應義塾大学)、水野英雄(椙山女学園大学)、高橋桂子(実践女子大学)、石山晴美(日本取引所)、鈴木深(日本取引所)、杉田孝之(千葉県立津田沼高)、升野伸子(筑波大学附属中)、塙枝里子(都立府中東高)、中尾鉄也(都立科学技術高)、星典男(鎌倉市立大船中)、梶ヶ谷穰(昭和音楽大学)、中沖栄(清水書院)、鈴木孝治(日本経済教育センター)、高橋信博(筑波大学大学院)、滝沢裕和(筑波大学大学院)、新井明(上智大学)、以上17名

【内容要旨】

- (1) 今回は、部会交流で名古屋部会から水野先生(椙山女学園大)が参加された。また、新しく参加される先生方もいたので、自己紹介から始めることになった。
- (2) 最初に年次大会の準備状況の確認があり、そのなかで、松井先生(西九州大学)が報告予定の選挙の経済学に関する内容を検討した。合理的に考えると選挙に行かないという結果をいかに逆転させることができるか、それを高校授業でどうつくりあげてゆくことが課題との方向性の確認を行った。
- (3) 本年度の夏の経済教室の日程と内容についてのディスカッションを行った。夏の教室のスケジュールは下のとおりであり、昨年と日程がずれるが枠組みはほぼ同様のものとなっている。

名古屋中	8月4日(木)	ウインクあいち
名古屋高	8月5日(金)	ウインクあいち
大阪中	8月8日(月)	国民会館
大阪高	8月9日(火)	国民会館
東京高①	8月18日(木)	東証ホール
東京高②	8月19日(金)	東証ホール
東京中①	8月22日(月)	東証ホール
東京中②	8月23日(火)	東証ホール

今年は、導入が予定されている新科目「公共」、アクティブラーニングに対応する経済教育のあり方を念頭に、シリーズとして継続している、教科書を読み解く、Basic経済入門、歴史シリーズ、時事問題の解説、入試問題、金融証などは昨年同様に入れてゆくことになった。また、あらたに高校だけでなく中学教科書分析が入ることになった。講演は内容を検討、中学で行ってきた「みんなで話そう」は内容を改定してその日の講義をもとにしたワークショップ型の時間枠とする方向で検討することになった。

中高の実践報告の内容、担当者なども含めて、原案を至急出して関係者で内容を詰めて、次回部会では内容確認、決定までゆけるように準備をすすめることになった。

- (4) 部会報告が行われた。札幌での冬の教室、大阪部会などの報告があった。また、名古屋部会に関しては水野先生から資料をもとにこれまでの歩みと課題が報告された。



(5) 教材検討は、埴先生(都立府中東高)から「公共の経済学」の学習指導案が提案され、検討がおこなわれた。これは、本年1月に加藤先生(慶応義塾大)が府中東高でおこなった費用逓減産業、自然独占、公共サービス、政府の役割に関する授業をもとにした、新しい授業案である。

加藤先生からは、市場の失敗に関する教科書の記述は十分とはいえず、規模の経済や自然独占の意味、公共料金の根拠、市場の失敗と政府の失敗との関係などに関して、きちんと教えたいというのが最初の趣旨であったという説明があった。埴先生の提案の授業案は身の回りにある独占と公共の問題について生徒に取り組みせる意欲的なものとの評価があり、今後の実践を踏まえてさらに教材として完成させてゆくことになった。

(6) 升野先生(筑波大学附属中)から定期考査問題が紹介された。学年末考査なので暗記ではない、生徒のこれまでの学習の成果を問う出題をこころがけたとの説明があった。特に、一票の平等と選挙区の改正に関して、人口動態や選挙区割りのデータをもとに解答させる問題は正解が一つとは限らないもので、生徒の応用力を試す「目玉」の問題とのこと。

(7) 部会の性格から、運営に関する検討事項が多くなりがちであるが、今回は、選挙の経済学、独占と公共の問題等、これからの経済教育のなかでも取り組まなければならない事項や教材の検討に時間を割くことができ、また、参加者の活発な意見交換もあり、有意義な部会となったと言えよう。

以上、記録と文責 新井

次回開催予定:4月14日(水)19:00~21:00。場所は日本大学経済学部本館2階会議室予定。議題は、夏の教室準備、年次大会総括、教材の検討など。なお、5月12日(木)も予定している。